

(池)

野田さん、皆様、お疲れ様でした。あの会場の機能をフルに使って野田さんの歌からはいったことは今回の企画の成功の第1にあげられそうです。あの時だけシーンとしました。年齢層を考えると選曲もよかったですよね。

私は「企画に野田さんの歌はどうか」と提案しただけで、「野田さんの歌をオープニングに」とキーアイデアを提案してくれた明珍君、そしてその後素晴らしく準備してくれた中川君、松井君に感謝です。

野田さんが東京でコンサートを持つときはぜひ学年全体にご案内状を出しましょう。

(桜井)

ビデオに関しての、予想外の高い評価、大変有難うございます。

喜んでいただけて、大変嬉しいです。

実際の話、他の担当の方も本当にご苦労されたと思います。

進行表など、その緻密な構成。着実に進められたそれぞれの役割、自分のように、「ぶっつけ本番、なるようになるさ」という、いい加減な人間には、とても出来ないことでした。

当日も、野田さんの歌から始まる企画など、多くの方からお褒めを頂いたようで、よかったですね。何より野田さんの歌がよかったことは、言うまでもありません。自分はおもかくビデオがちゃんと写せるか、それだけが心配で、他のことは何も出来ませんでした。

NAPの茂木さんたちも、さすがにプロだと感じるスムーズな進行に、感謝感激です。有難うございました。

(内藤)

素敵な企画進行案でした。

微力ながら私なりにこの素晴らしい企画の趣旨に沿う司会ができるようにと、それだけを心がけて努めさせていただきました。

とくに素敵な野田淳子さんのご紹介をさせていただけたことは、光栄でした。とてもいい思い出になりました。ありがとうございました。

(中川)

皆さんお疲れさまでした。

野田さん、素晴らしい歌をありがとうございました。

開宴は、私のイメージ以上に完璧でした。野田さんの歌に合わせて会場が歌いだした時、やったっ！と思いました。今、祭りの後の寂しさを感じています。池君の提案、良いですね。みんなでまた素晴らしい歌を聞きに行きましょう。

(小島)

皆さんご苦労さんでした、そしてありがとうございました。懇親会は名司会と、名ビデオで盛り上がり、しかもインタビューはぶっつけ本場だけど、うまく行きました。そして小生の担当の2次会も何とか無事に終わりほんとに安心してあります。でもマジで疲れしました。

2年後までゆっくり休ませてもらいますよ^^
では23日にお会いしましょう！(今度はゆっくり飲んで話して騒ぐぞ～～)

(中川)

このメールは総会進行準備で頭をつき合わして、喧々囂々とやった皆さんに配信しています。

皆さん大変お疲れさまでした。しかし苦勞の甲斐がありましたね。かなりの好評価のようですね。

久野さん、司会役をやらずに済みましたが、あなたの貴重な(そして強い)意見はずいぶん役に立ちました。ハット思わせる場面もたくさんありました。他の様々?な事もやって(やらされて)お疲れさまでした。

内藤さん、やっぱり素晴らしかった。私、言いましたよね?全然心配してないですよって。少しアドリブって面白くしてよってね。さすがにアドリブは余り無かったようですが、伊達に勉強してない事を(真面目に勉強したことを)実証しましたね。

佐藤さん、紹介してくれた茂木さんたちのお陰で、当日はオープニングのリハーサルの後は本番でも何もせず済みました。茂木さんには、CCで見たと思いますがお礼をしておきました。何かお礼をした方が良くは有りませんか?

松井さん、音響だけでなく、いろいろと細部に渡ってアドバイスをいただきました。音声関係で何か反省があると他のメールに書いていましたが、そうなのですか?全然わからなかった。

桜井さん、先のメールにも書きましたが、大変なお役目を引き受けてしまって、ご苦勞さまでした。最後は素晴らしい作品を仕上げてくださいました、ありがとう。もう一度言っておきます。ビデオ頂戴。

江森、私は貴方に感謝しています。私を企画に引っ張ってくれたことに対してです。このような会をディレクトするなどということは到底私には機会の無いことです。プロでもある程度責任ある地位の人しかできないのではないのでしょうか?最初は進行表のフォーマットをホテルに聞いても、後からお手伝いを願った NAPさんに聞いても使えるモノは無かったので、不安もあり夢などを見ましたが、詰めていくうち段々自信のようなものもできてきました。このような経験をさせてくれた江森にありがとうと言います。

皆さん23日にまたお会いしましょう。

(江森)

熱気がありかつ心のこもるメッセージありがとうございます。

別のメールで送りましたが中川の「祭りのあとの寂しさ」という言葉は、これまで一生懸命準備していたものの今の心境にぴったりな言葉だと思います。

それにしても中川の下記メールの「私はあなたに感謝しています」という言葉にはこれまた感動します。多少涙がでました。

西井の話で、年配者が今回の懇親総会で野田さんの歌を聴いてないたということですが、最近涙もろくて困っています。

西井ではないけれど還暦近い人間が少年少女のように青春して感激しているのだと思います。

(江森)

(中川さん)

中川さんかくもディレクターの役割を果たしありがとうございます。特に厳しく怒られました。今から考えれば一緒に努力したかいがあったと思います。またまた今回の通知の件ではご迷惑をかけ怒られました。局長の役割を最後まで果たします。

(佐藤さん)

佐藤さん司会ご苦労さま。十分サポートできずすみません。ほんとうにすばらしいコンビであったと思います。

(桜井さん)

桜井さん本当にすばらしい作品で、野田さんとともに殊勲賞・技能賞というところでしょうか。最初の作品を見てびっくり、オープニングなど見てさらにびっくり、当日のナレーションなどすべてすばらしく、毎回評価は高く、120点というところでしょうか。

(松井さん)

松井さん今回の野田さんのすばらしい感動をささえて頂いてありがとうございます。また参加組織も努力されて感動します。録音マニアの新骨頂がわかりました。

(小島さん)

小島さん。ナレーターの手配、そして2次会のセットご苦労様。いつも遠くからありがとうございます。打ち上げでは何も気にせずのみ、その日は東京に泊まりましょう。

(安藤さん)

ご苦労さまでした。1次会の司会は逃れましたが、2次会でつかまりましたね。是非来て下さい。

(大宮さん)

最終的には財政優先でしたが、そちらからも連絡が行くと思いますがよろしく。返事はどちらで良いです。

(内田さん)

あまり参加できませんでしたが是非ともおいで下さい。

(安田さん)

是非おいで下さい。

(高橋さん)

本当にご苦労様。さすが度胸の2人組、ビデオは好評です。本籍は総務ですが最終は、企画の中核ですのでだぶるかもしれませんが送ります。

返事はどちらでも良いです。

(倉沢さん)

企画委員会ではないですがナレーターの感想など語りませんか。是非参加して下さい。

(久野)

中川さん、ネギライのお言葉をありがとうございます。40年の方々と仲良しにさせていただいて嬉しいです。中川さんの企画から始まった総合進行表・会場レイアウト・教職員座席配置他・・・みな大迫力でした！どんなに総会進行の上で盛り上がり、また江森さんが安堵されていたことでしょう。お疲れ様でした。

で、いかがでしょうか。せっかくですから5年後もご活躍の場をご用意させていただき

ますが・・・。今度は40年の方々が45年の中に入っただくという設定もアリかもしれませぬ。
皆さま、お疲れさまでした。これからもどうぞよろしくお付き合い下さいませ。

（江森）

遅ればせながら熱いメッセージを送ります。

45年度企画委員全体へ

このように他の学年と一緒に議論したことはありませんでした。真剣に誠実に行動する仲間を得たことに感謝します。これからも長いお付き合いをして下さい。

久野さんには企画だけでなくあらゆる面で活動して頂いてありがとうございます。お礼の言葉もでないほど感謝しています。あなたがいなければ今回の40年は動きがとれなかったと思います。何回も心を傷つける発言をしてすいません。

内藤さんの司会、当日リハーサルの時にマイクの声聞いたとき「すごい」と思いました。これをいった私に中川は「俺は最初にあったときから彼女の実力を知っていた」と述べました。私はにぶい人間でご迷惑をかけました。40年の司会をしっかりとサポート（実は主役では）していただいてありがとう。あなたがいてはじめて野田さんをはじめ企画が起きたのだと思います。

岡田さん、久野さん、内藤さんの介添え役、そして貴重な助言ありがとうございます。また40年の同期会での挨拶もありがとうございます。これからも45年の貴重な人事を生かす役割を果たして下さい。

皆さん23日を楽しみにしています。感想のメールお願いします。

（内藤）

江森さん

「熱いメッセージ」を嬉しく嬉しくいただきました。

ありがとうございました。

私に頂戴したお言葉に関しては、ちょっと褒めすぎ？で、背中がもぞもぞ、くすぐったいですう～。

至らない点もいろいろありましたが、それでも江森さんはじめ40年の皆さまにも喜んでいただけたようで、とても嬉しく、ああ、これでやっと終わった、お役が果たせたと思いました。

そのうえ、メッセージの催促、そうじゃなければ感想文を書かないぞ、なんてダダをこねたみたいなメールにお応え下さり、ありがとうございました。

さぞ呆れられたでしょうね。先輩の包容力を感じます。失礼のほどお許しください。

企画委員会、実はとても楽しかったです。

先輩方と意見交わしながらのイベントづくりのプロセス、気がつけば自分でも結構楽しんでおりました。総会に至るまでのプロセスも当日も、私にとっては大変良い経験でした。

自分の出来栄えについての反省は秘かにかみしめ、今後の糧にさせていただこうと思

ます。

ありがとうございました。

感想の方は改めて、引継ぎ事項など（タンタンと）お送りするようにいたしますね。

それから、総会後にも申しましたが、23日は夫のおりますシンガポールに滞在中ですので、残念ですが欠席させていただきます。実は総会が終わるまではと、訪星を延ばしに延ばしておりました。ボーリング大会なども心は惹かれるのですが、ごめんなさい。40年の皆様さまには、「良い経験をさせていただいて内藤が感謝申し上げていた」と、どうぞよろしくお伝えくださいませ。

こちらこそ今後ともよろしく願います。

（松井）

松井です。やっと冷静に振り返る余裕が出来ました。

まずはお礼です。

1. 庶務の方々、当日の運営ご苦労様でした。
2. 財務の方々、ホテルとの交渉・その作戦の立て方ご苦労様でした。
3. 組織の方、最後の追い込み本当にご苦労様、6月最後の週の危機的状況から追い込みで、結果的にはほぼ予定の人数を確保できました。これが無かったら今回の懇親総会をハッピーな形で終わらすことは出来なかったでしょう。
4. 企画では、進行・司会・映像とそれぞれが最大の力を発揮してやはり成功だったと思います。

特に映像の作成。家族に仕事が大変なのになぜそんなに同窓会の打ち合わせに行くのかと非難されながら、結局は何とか作っちゃいましたね。

やると言ったから後に引けずにやったけど、大変なことを引き受けたと思ったのでは無いでしょうか。

でも良いものが出来て本当に良かった。正直言って僕もDVDが欲しいです。

5. それとぴったりしたスローガンの存在も大きかったです。関沢さん有り難う。
 6. S45, S50の方々もS40に負けずがんばっていただき有り難うございました。
 7. 城北会の会長をはじめとして事務局の方々、いろいろな面で援助していただき有り難うございました。
 8. 最後の呼びかけに応じて参加して下さった他学年の方々、有り難うございました。これはほんとに最後の力になりました。
 9. その他にも私の見えないところでたくさんの方々の好意に支えられて今回の結果となったと思います。（武川さん有り難う）
 10. この実行委員会をまとめてくれた実行委員長ご苦労様でした。
- これらのすべてが結集して、「やって良かった」と今思えることはとても幸せです。

（内藤）

たいへん素敵な企画進行案だったと思います。

微力ながら私なりにこの企画の趣旨に沿う司会ができるようにと、それだけを心がけて努めさせていただきました。今はとにもかくにもお役目をなんとか終えることができ、ほっとしています。

大変周到な準備期間がありましたので、台本もほぼ完璧にできており、司会者としては

楽な気持ちで当日を迎えることができました。ひとつ気になりますのは、司会者自己紹介の折、メイン司会の佐藤さんと目と目を見交わすという段取りでした。私たちはそのようにやったつもりでしたがこの点、皆さま、気がついていただけましたでしょうか。(笑)

来年度に申し送っていただきたいことは、

1. 司会者席にはいろんな人がいろんなことを言うこと。
知らない人からいきなりメモを突きつけられたりして、とっさの判断が結構大変。
司会にメモを入れる役を一人決めておくといいということ。
2. 四中校歌の歌詞の訂正
プログラムとスクリーンの歌詞が一文字違っていたようですね。
これも参列者が直接、違うよとメモを司会に差し出されました。
マイクでお詫びと訂正を約束しました以上、来年は必ず訂正された形で出るように
お願いしま す。
その他、校歌の演奏のキーは原曲通りかと確認に見える方がいらしたり、城北会には
いろいろこだわりのある方がたくさんいらっしゃるのだな、ということがよくわかり
ました。

個人的にはいろいろ反省もあります。ただ、総会后、多くの方から温かく労っていただき、このような得がたい体験をさせていただいたことに、改めて感謝申し上げたいと思いました。

また企画委員会を通して、40年の先輩方とした喧々譁々の意見交換は、懐かしい学園祭の準備のようで大変楽しい時間でした。

いろいろお世話になりまして、ありがとうございました。

(小島)

感想文のメールが遅れて申し訳ない。

色々あるのですが、終わって安心して虚脱みたいな感じでなかなか文章が頭に浮かんできません。

それでも思いつくままを書いてみます。

実行委員会を通じての感想としては、私を含めて良く皆さん手弁当で毎回たくさんの方が集まったなとつくづく感心します。やはり戸山という青春の一時期を楽しくも苦しくも過ごした事が印象に残っていて、そこで交わった友がいろんな意味で影響しあった事が吸引力となっているんだろう。

1年以上も前にスタートした実行委員会ですが、最初は人数も少なく、遅々として進まなかった、ところが半年前くらいから各部局の動きが速くなり、特に局長間の調整が良く図られていた様に思います。

そして内容が具体的になるにしたがって人も集まってきて、最終的には同期の総会出席者が150人以上と過去最高の人が集まり総会も盛況でした。

総会の内容もいきなり歌で始まり出席者の関心を集め、そしてビデオと先生のインタビューと、趣向が新鮮であったと思う。

但し企画局としては細かいつめとビデオの内容が最後まで確定しなかった事は反省すべきだと思う。(但しビデオの内容は大変良く出来ていた)

そしてインタビューとナレータについては、ビデオの関係もあってぶっつけ本番に

近かったのと、内容を打ち合わせで吟味できなかった事はやはり反省すべきである。(担当者としても)(終わってみれば ナレータとインタビューもそこそこうまく行ったと思っています.)

自分の事としては2次会での内容と進行についても最後はばたばたと決めてしまったので、実行委員会での確認が出来なかった事が反省点です.

ひとつの案として、歓談の時間にしゃべりたい人を自由にしゃべらせても良かったとおもいます.

3次会については設定はしなかったけれど、実行委員会で検討する事も必要であったと思うし、少なくとも場所なりを調べていて、提供しても良かったと思う.

そして今後のために城北会で総会の実行委員会のマニュアルみたいな物を作成すれば今後余計なエネルギーを使わなくて済むかと思えます。(ここ3年くらいの資料を整理するなど)

まだ書きたいことはありますが、この辺でやめておきます。

では23日に会えるのを楽しみにしています。